

✓ 光テクノロジー応用懇談会オンライン開催決定!!

2月15日(火)に、令和3年度第2回光テクノロジー応用懇談会を千歳工業クラブと公立千歳科学技術大学(科技大)との共催により開催します。

招待講演として、
①「カーボンニュートラルに向けた取り組みと課題」(株)デンソー

北海道 環境計量士 中村英和氏、②「大学と企業の特許例」北見工大 客員教授 三井良一氏、③「テクノロジーを応用したアートによる地域振興」科技大 准教授 青木広宙氏の3本のセミナーを行います。

オンラインでの開催となりますので、ご興味のある方は、ぜひ、お気軽にご参加ください。

お申込みは、右記QRコードより、申込みフォームにご入力いただくか、PWC事務局(TEL: 0123-42-0523)まで、ご連絡下さい。



🗨️ 研究クラスター紹介

～PWCでは、クラスターコーディネーター(CC)が中心となり、研究クラスターを構成し、特定のテーマに絞った研究活動を行っています～

市民の生活に根付く三次元画像センシング技術クラスター CC: 青木 広宙 准教授

本クラスターでは、健康増進、安全見守り、農業、アミューズメントなどをターゲットとし、市民生活の向上を目的とした三次元画像計測技術・AI技術・VR技術などを応用した、新しいセンシングアプリケーションシステムの研究開発に取り組み、その実用化を目指しています。今年度は、①健康増進

のためのアプリケーションシステムの開発 ②安全見守りシステムの開発 ③非接触医療診断システムの開発 ④デスクトップ植物生育システムの開発に取り組んでいます。③非接触医療診断システムでは、世界初で、胸の3次元形状から呼吸を計測するシステムを開発し、呼吸器のアプリケー

ションを埼玉医科大と共同研究しており、その研究結果を「第31回日本呼吸ケアリハビリテーション学会」で発表しました。また、生体信号や位置情報を利用したアート制作として、美術家の艾沢 詳子氏とコラボレーションしたライティングにも活用しています。



12月中旬から2月末まで、千歳市商店街振興組合連合会と科技大などが連携して、グリーンベルトにイルミネーションを灯し、街中に彩を添えています。『フラミッド型オブジェのイルミネーションを手掛けた情報システム工学科2年の小野さんと桑田さんは、初めて使用する制御装置アルディーノに慣れるまで苦労したが、大学の授

艾沢 詳子 + 青木 広宙 PLATFORM

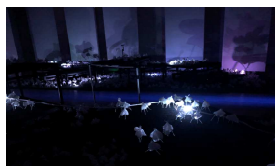
2022.1.8から1.23まで、札幌市民交流プラザ SCARTSコートで、アートとテクノロジーの融合展示会「PLATFORM」を開催中です。

美術家艾沢 詳子氏のヒト型オブジェの集合体に、青木准教授が手がける三次元画像センサ

が、鑑賞者の呼吸や位置を非接触で計測し、その動きに基づき、壁面に投影される画像が刻々と変化します。

鑑賞する側の動きと連動して、ライティングが変化し続け、またとないひと時を味わえる幻想的な空間を演出します。

2月中旬には、千歳市民ギャラリーでも一部展示を行いますので、ぜひ一度、ご体感ください。



業で勉強したC言語が役立ち、何とか会期に間に合った。ゆっくり、じんわり変化する光の流れを感じてもらえたら嬉しい。」と見どころを語りました。音に反応して光が変化するジャンクルジムの作品を手掛けた青木研究室の古館さんは、市の観光資源である支笏湖や水からインスパイアされ、ジャンクルジムを水槽に見立て、

作品を制作した。零下の中、現場で作業するのが何より大変だったが、この経験で培った努力や根性を、今後の卒業研究に活かしたい。ライトアートはエンターテインメント性があつて楽しい。」とライティングの魅力を語りました。
2月末まで、千歳市千代田町付近グリーンベルト緑の広場でライティングアップしています。

PWC事務局書記の京屋です。今年から、PWCの取組のPRや、会員相互の情報共有を図るためのコミュニケーションツールとして、『PWC TIMES』を発行する運びとなりました。研究クラスターの活動や、科技大の学生さんと連携した取組など、面白い話題を掲載していきたいと思っております。キラリと光る話題がありましたら、事務局までご一報ください。☆☆☆



事務局ひとこと



☆ ライトアート工房と青木研究室の学生が街中を彩る